CLA 関東支部ニュース

中部支部の活動紹介

第 36 回全国都市緑化信州フェア「信州花フェスタ 2019」見学会開催の報告

フェア開催期間：平成 31 年 4 月 25 日〜令和元年 6 月 16 日

見学会開催会場：長野県松本平広域公園（信州スカイパーク）〈メイン会場〉

令和元年 6 月 7 日（金）に、CLA 関東支部特別セミナーとして、第 36 回全国都市緑化信州フェア「信州花フェスタ 2019」見学会を開催しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、約 50 名の方が参加されました。設計者から設計趣旨の説明もあり、活発な質疑や意見交換とともに、参加者間の交流・懇親を深めることができました。

中部支部の活動紹介

CLA 中部支部は昭和 63(1988) 年に設立され、昨年 30 周年を迎えました。現在、正会員 5 社、賛助会員 10 社の計 15 社で活動しています。昨年度の主な活動を以下にご紹介します。

官公庁との意見交換会（6 月 27、29 日）

名古屋市内の官公庁（国土交通省中部地方整備局、愛知県公園緑地課、名古屋市緑政土木局）を訪問し、ランドスケープコンサルタントの技術力の向上、品質の確保、情報提供等について意見交換を行いました。

とだがわの森感謝祭（10 月 13 日）

名古屋市内の総合公園「戸田川緑地」で毎年秋に行なわれた「とだがわの森感謝祭」に出展しました。平成 23 年度から 8 年間続けているもので、子どもたちや親子連れを対象とする「森めぐりラリー」を会員で運営し、パンフレット配布による PR 活動もおこないました。

とだがわの森感謝祭出展
（自然素材工作の様子）

ランドスケープセミナー（11 月 6 日）

ランドスケープを取り巻く最新の潮流や動向を学ぶ研鑽の機会として「ランドスケープセミナー」を開催しました。講演は「Park-PFI の現在」笠間三生氏（国土交通省中部地方整備局建政部　公園調整官）と、「国内外の景観戦略〜ランドスケープの開発効果」宮脇　勝氏（名古屋大学大学院環境学研究科准教授）。官公庁職員も含めランドスケープに関わる方約 60 名の参加があり、活発な質疑や意見が交わされました。

（副支部長　小林高浩）

ランドスケープセミナー

登録ランドスケープアーキテクト(RLA)のご紹介

2013 年 8 月、新国立競技場建設のため、旧競技場で最後に行われたラグビー早明戦の終了後、ユーミンこと松任谷由実が登場して「ノーサイド」を熱唱しました。「ノーサイド（no side)」とは、試合が終わればサイドがない、すなわち敵味方なしという意味で、ラグビーだけでなく多くの場面でも使われていますね。

ユーミンがラグビーを題材とした「ノーサイド」という名曲を歌ったことで、ラグビーオンチの女性はもちろん、日本全国に「ノーサイド」という言葉が広がりました。一方、海外ではゲーム終了時には「フルタイム（FULL TIME)」という言葉を使っています。ちょっと味気ないですね。しかし、試合終了後は「アフターマッチ・ファンクション」という催しを行って、さっきまで血を流して戦った選手たちが、敵味方関係なく食事をし、酒を酌み交わしながら談笑し合うそうです。そんなことから「ノーサイド」という精神や言葉が、日本で用いられるようになったのでしょうか・・・

競技場の設計でも、サッカー選手用のシャワー室は両チームそれぞれにあるのですが、ラグビー選手用は 1 か所なのです。この辺りにもノーサイドの精神が活きているのでしょう。

ランドスケープアーキテクトの仕事も、多くの仲間たちとともに、クライアントや工事関係者など、様々な立場の方々と協働して作品を作っていきます。時にはぶつかり合うこともあり、「ノーサイド」の精神は大切な心掛けです。ながびく日韓問題も、はやく「ノーサイド」となると良いですね。

いきものコラム その 25　「国の色とエンブレム」

ラグビーワールドカップ 2019 日本大会の開催に因んで、今回のいきものコラムは参加国のユニフォームやエンブレムについてご紹介します。これらは、国民の愛着や誇り、歴史など様々なメッセージが込められており、植物にまつわるものが多くあります。

先ずは日本と予選で対戦する最強豪国アイルランド。代表ジャージは緑色で、エンブレムの図柄はシャムロック（クローバーなど)。世界的に有名なアイルランドのお祭り「セントパトリックデー」でも有名な色と紋様です。聖パトリックはアイルランドにキリスト教を伝道した人物で、シャムロックの三枚葉を三位一体の説明に利用したと言われています。また アイルランドは樺太と同緯度の島ながら、穏やかな気候のため一年中緑に包まれた「エメラルドの島」と呼ばれており、シャムロックが至る所で見られることからも、シャムロックは国花的な扱いであり、国のシンボルカラーが緑なのでしょう。

次の強豪国スコットランド。エンブレムの図柄はアザミを模しています。かつて敵の侵攻を撃退した象徴としての逸話があり、15 世紀に国花とされました。現在もハイランドを中心に広く見られる植物であり、国の紋章、勲章、企業のロゴなどに数多く利用されています。

その他、ラグビー発祥の地イングランドのエンブレムのバラ、世界ランキング 1 位ニュージーランドのシルバーファーン（木生シダ）などがあります。それらにはきっと「桜のジャージ」に込められた意味と同じ想いがあるのでしょう。今回エンブレムを掲載することが難しいのですが、是非、参加国のエンブレムにも注目してみてください。　㈱プレック研究所　芝野将年

気になるお店

「ラグビーダイナーノーサイドクラブ」2011 年 7 月にオープンした、都内でも数少ないラグビー専門のスポーツバーです。

今年日本で開催される W 杯日本大会に向け、ニュージーランドやヨーロッパなど海外の試合はもちろん、日本代表、トップリーグ、大学・高校ラグビーまで、ラグビーの試合だけをライブ＆録画放映しています。

ビアソムリエの資格を持つマスターが注ぐ極上のビールやフードを嗜みながら大画面で観るラグビー。そして店内のお客様のほとんどがラグビーファンなので、ラグビー初心者の方も、お一人で来られた方も、すぐにラグビー仲間ができます。

また、日本代表選手やトップリーグ選手、OB の方々などを招いた「トークライブ」や、ラグビー好きの女子を対象にした「ラガールデー」、東北震災復興を願う「釜石ナイト」などイベントも毎月多数開催してラグビーの人気に一役買っています。

ラグビーに興味はあるけれど、難しそうでまだ試合を見に行く勇気がない方や、ラグビーファンの仲間を増やしたい方など、一度お店に行って雰囲気を味わってみてはいかがでしょうか。

住所 ● 東京都豊島区高田 3-10-22
キャッスル安斎ビル 2F
電話 ● 03-3209-0723
営業時間 ● 17:00 〜 24:00
休日：毎週日曜日／第 2 月曜日
交通 ● 高田馬場駅・早稲田口徒歩 5 分
ホームページ ● http://www.nosideclub.jp

編集後記

遂に令和（beautiful harmony）の時代が始まりました。新時代幕開けを象徴するラグビーワールドカップと、ランドスケープの特集は如何だったでしょうか。スポーツと暮らしの美しい調和をランドスケープが実現できるよう精進したいと思います。（石垣）

みどりの手帖　Vol. 25　2019 年 9 月

発行者　(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会関東支部長　光益尚登
〒 103-0004　東京都中央区東日本橋 3－3－7　近江会館ビル 8 階
TEL 03-3662-8266　FAX 03-3662-8268

企画・編集　菊谷 隆、新井 深、石垣良弘、泉地善雄、加藤直人

※転載・転用を禁じます。表紙写真／熊谷ラグビー場、東京スタジアム、横浜国際総合競技場

CLA
Consultants of Landscape Architecture in Japan

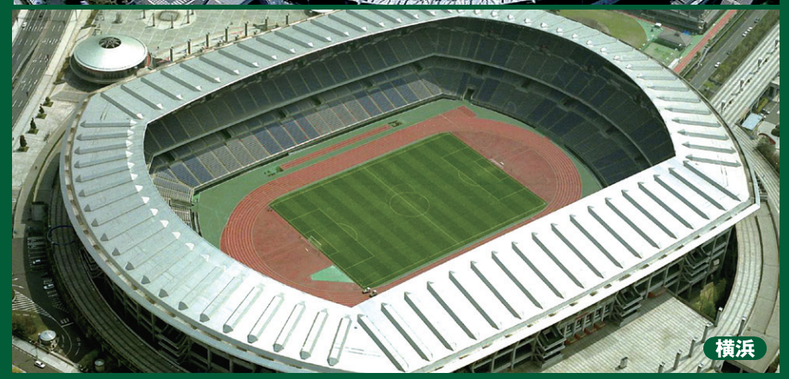
(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会関東支部
Consultants of Landscape Architecture in Japan

CLA 関東支部情報誌
Vol.25 2019.9

みどりの手帖

熊谷

東京



横浜

特集
ランドスケープのしごと
「ラグビー W杯とランドスケープ」

CLAの技術・事例特集

CLA関東支部ニュース／中部支部の活動紹介

特　　集

ランドスケープのしごと:
ラグビー W 杯とランドスケープ

開幕直前の、ラグビーW杯。前回大会の歴史的快挙を受けて、満を持して迎える、日本で初の大会で、初の決勝トーナメント出場を目指す、さくらのジャージで盛り上がる中、私たちランドスケープの分野が、係わる仕事に関連して、大会の概要やスタジアムの情報など共に、スタジアムで使用されるハイブリッド芝のことを中心に、詳しく調べてみました。

盛り上がるスポーツ関連の事業の中で、今後の参考になることを願っています。

RUGBY WORLD CUP™ JAPAN日本2019

●ラグビーW杯の概要

令和元年 9 月 20 日（金）より全国 12 会場で予選スタートします。
予選グループ 2 位までが進む、決勝トーナメントは 10 月 19 日（土）から始まり、決勝は 11 月 2 日（土）18:00 キックオフ。横浜国際総合競技場にて行われます。

●試合会場の概要 :12 会場は以下の通り

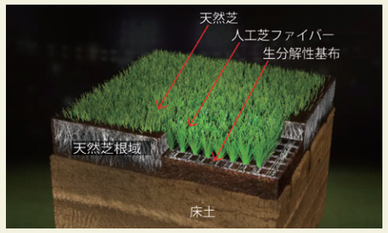
札幌ドーム（北海道）／釜石鵜住居復興スタジアム（岩手）／熊谷ラグビー場（埼玉）
東京スタジアム（東京）／横浜国際総合競技場（神奈川）
小笠山総合運動公園エコパスタジアム（静岡）／豊田スタジアム（愛知）
東大阪花園ラグビー場（大阪）／神戸市御崎公園球技場（兵庫）
東平尾公園博多の森球技場（福岡）／大分スポーツ公園総合競技場（大分）
熊本県民総合運動公園陸上競技場（熊本）

※来場見込180万人（海外 50 万人）です。

●ハイブリッド芝の概要

ラグビーW杯の開催を契機に、国内の競技場では、世界トップクラスのラグビーゲームに耐え得る芝生強度を確保するために、より耐久性が高く、回復力のある芝生が求められるようになってきました。そのため、近年では、ハイブリッド芝と呼ばれる、補強材入りの芝生のグラウンドが増えています。代表的なハイブリッド芝は大きく３種類に分けられます。

●カーペット式タイプ



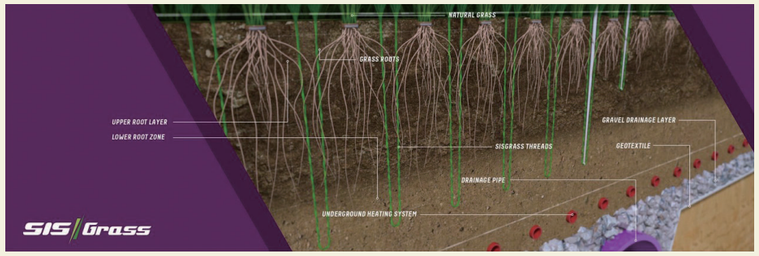
床土の上にカーペット状の人工芝を敷き、人工芝パイルの間に床土を充填し、天然芝を植え付けるタイプです。

特徴としては、
・人工芝繊維や基布の素材や形状、織り、編み、差し込み等の違いにより、様々な製品がある
・人工芝繊維や基布に天然芝の根を絡ませ芝生強度を高める
・芝生の表面は天然芝と人工芝が混在する
・通常の天然芝と同じ管理作業であり、芝生の張替が行える

国内事例：横浜国際総合競技場（神奈川）
大分スポーツ公園総合競技場（大分）

出典：日本体育施設（株）
http://www.ntssports.co.jp/ soccer/XtraGrass/XtraGrass.html

●打ちこみ式（ステッチ式）タイプ



天然芝の表面から人工芝パイルを床土に打ち込むタイプ。専用機械で人工芝繊維を2cm 程度の間隔で打ちこみ、人工芝繊維の間に芝の種子を撒きます。既存の天然芝の上から人工芝繊維を打ちこむことも可能です。

特徴としては、
・人工芝繊維に天然芝の根を絡ませ芝生強度を高める
・芝生の表面は天然芝と人工芝が混在する
・通常の天然芝と同じ管理作業だが、コアリングと呼ばれる芝生の抜き取りは行わない

国内事例：神戸市御崎公園球技場（兵庫）
東京スタジアム（東京）

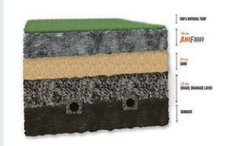
出典：（株）K2K
http://k2k-green.com/company.php

●床土改良タイプ

天然芝の床土に安定性を高める資材を混ぜ込むタイプです。資材としては主にファイバー（人工繊維）などが用いられています。

特徴としては、
・ファイバー（人工繊維）に天然芝の根をからませ芝生強度を高める
・芝生表面における天然芝と人工芝の割合は天然芝 100%
・維持管理は通常の天然芝と同じ管理作業が可能

国内事例：釜石鵜住居復興スタジアム（岩手）



出典：日本フィールドシステム㈱
http://www.n-f-s.co.jp/product/airfibr/

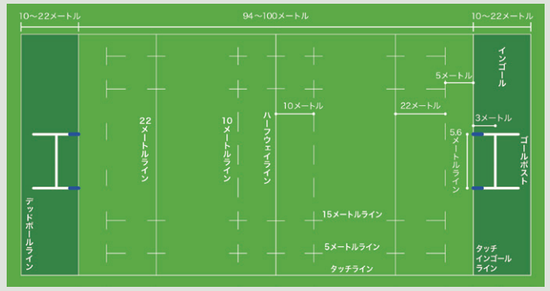
●ラグビーW杯の効果

ラグビーW杯組織委員会の推計では、期間中のトータル来場者数は 200 万人、内、海外からの来場者数は 41 万人と想定し、1,680 ～ 2,780 億円の経済効果を見込んでいます。また、相当数の外国人観光客が見込まれています。各開催都市においては、会場等の施設整備が進むと共に、ラグビーを中心としたスポーツイベント開催地としての認知も向上し、経済波及効果が持続的なものとして進展することも期待できます。

CLA の 技 術 ・ 事 例 特 集

今回の会場整備に関して、関東支部の各社が、色々な場面で参画し、貢献しています。以下に抜粋一覧を提示します。

・［ **埼玉** ］熊谷ラグビー場：水景施設、外構
・［ **東京** ］東京スタジアム：ゴールポスト設置
・［ **神奈川** ］横浜国際陸上競技場：グラウンド整備
・［ **静岡** ］小笠山：グラウンド整備、人工芝ピッチ拡張、ゴールポスト設置
・［ **福岡** ］東平尾公園：外構（遊具）
・［ **大分** ］スポーツ公園：ハイブリッド芝、移動式人工芝
・［ **熊本** ］県民総合：移動式人工芝、外構（遊具）

ラグビー豆知識

ポジション名は覚えておきましょう